

にほんなら
日本の慣わし



引っ越しの挨拶 春に引っ越しをする人は多いですね。今回は、引っ越しに関するマナーを紹介し、日本では、新しい家に引っ越す時、近所の家に挨拶に行く習慣があります。

【いつ挨拶に行く?】引っ越しの時に大きな音などで近所の人に迷惑をかけるので、引っ越しの日よりも前に行きます。

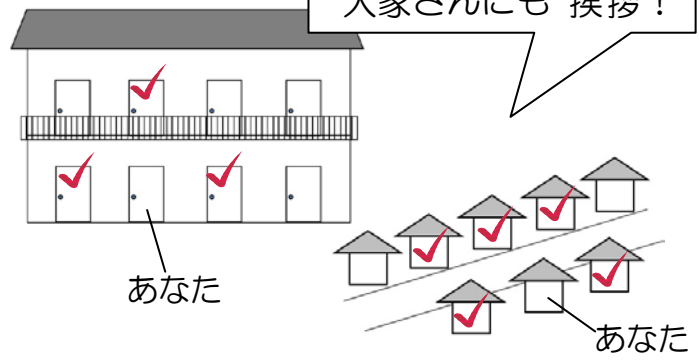
無理な場合は、引っ越しの後1週間以内に行きましょう。

おおよや 大家さん (=オーナー)が ちかす 近くに住んでいれば、 おおよや 大家さんにも 挨拶!

【どの家に行く?】

アパートに住む場合 自分の部屋の真上/真下、両隣

一戸建てに住む場合 両隣、向かいの3軒 (=目安)



【何を持って行く?】

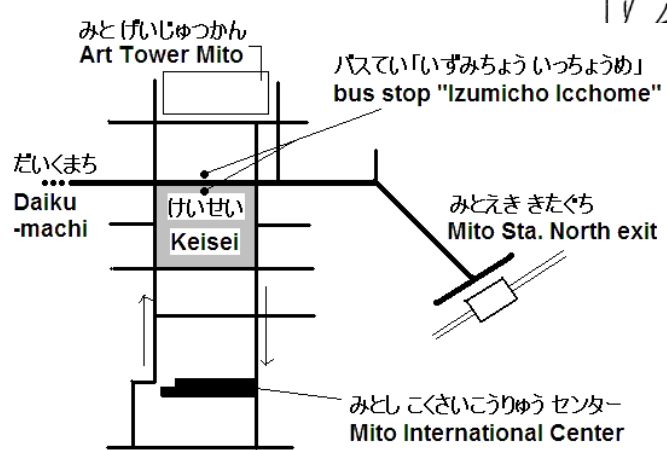
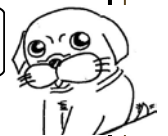
洗剤やお菓子など、約500円~1000円のものを持って行くと良いでしょう。笑顔で、「新しく引っ越します(引っ越しました)。名前は〇〇です。部屋/家は〇〇です。よろしくお願いします。」と伝えましょう。挨拶で近所の人と知り合いになれば、新しい家での生活が楽しくなります。また、災害時や困った時には近所の人と助け合うことができます。

公益財団法人 水戸市国際交流協会 (MCIA)

火曜日~日曜日 9am - 9pm
(休み: 月曜 & 4月29日)
5月4日、6日、7日

add. 〒310-0024 水戸市 備前町 6-59
tel. 029-221-1800 fax. 029-221-5793
mail mcia@mito.ne.jp
HP http://www.mitoic.or.jp

気軽な気持ちで来てね



ご意見・ご要望、お待ちしております!

水戸駅・北口で、バス乗場 #4~7 から バスに乗る ⇒ 5分 ⇒ ♀ “泉町一丁目”



Culture Pot MITO

「Culture Pot Mito」は、水戸市をひとつの pot (つぼ) に例えて、その中にたくさんの culture (文化) が入っているような、多文化共生の社会をイメージした言葉です。この情報紙が、みなさんの生活で役に立ち、水戸市をもっと好きになるきっかけになることを願っています。

※ 多文化共生の社会 = 国・言葉・文化のちがう人たちみんなが住みやすい社会



写真 JICAで派遣された国、ボリビアについて語る近藤桂さん

がつついたち 3月1日 国際交流センター

FORMAL

した あいて しこと
親しくない相手や、仕事など

ちょっと日本語

CASUAL

した ゆうじん
親しい友人など

「ありがとうございます」

「ありがとうございました」

これにたいへんじ
に対する返事は、

→ 「とんでもないです」

→ 「どういたしまして」

などが 一般的なです。



「ありがとう！」

これにたいへんじ
に対する返事は、

→ 「いいえ〜」

→ 「いえいえ」

などが 一般的なです。

